

市政に対する一般質問

一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が執行者の考え方をただすことができるものです。12月定例会では、12月11日・14日の本会議で15人の議員から質問が行われ、論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です(掲載は質問順、5ページまで続きます)。



災害時の情報伝達に発光型 掲示ボードを活用しては

公明党 井上 賢二

●コロナ禍における防災・減災対策について

Q より実践的な防災対策を考える際、さまざまな時間帯に発災することを想定した準備が必要である。夜間でも遠方から見える発光型掲示ボードを活用し、聴覚障がい者などの支援に役立てないか。

A 災害情報などを視認できる手段の確保は重要であり、先進市を参考に、より望ましいものを検討していく。

Q 小・中学校では、共用部分の消毒作業などを行っていると思うが、教員の負担軽減を踏まえた支援は。

A 県から加配されたスクール・サポート・スタッフなどが消毒作業を行うほか、教員免許を有する臨時的任用職員なども加配され、心のケアや学習指導を行っている。

Q SDGsについて



助成金を利用し、住民参加型移動支援貸出用車両を購入しました

Q 学校現場で性的マイノリティの理解を深める必要があると考えるが、教員への研修や児童・生徒への教育は。

A 教員へは人権教育研修会などを、児童・生徒へは発達段階に応じた道徳・人権教育を行い、理解を深めている。

Q 同性パートナーシップ

A 同性パートナーシップ制度を導入する自治体が県内でも増加しており、本市も導入すべきと考えるがどうか。

A 法整備による統一な運用が求められると考える。国・県の動向や他市の状況を踏まえ、前向きに検討したい。

●新年度予算編成方針と諸課題について

Q 令和3年度は新型コロナウイルスの影響で、個人市民税などの大幅な減収が予想される。市税の歳入見込みは。

A 予算編成方針策定時点での市税の歳入見込みは、約124億1千万円、前年度比で6億9千万円の減となる。

Q 新しい生活様式に沿った行政サービスやGIGAスクール構想に基づく整備などが求められる。デジタル化や押印廃止の取り組み状況は。

A 市では、庁内横断組織を立ち上げ、デジタル化や押印廃止に向け、検討を行っている。市教育委員会では、校長会と連携し対応していく。

Q 迅速な情報提供のためには、学校のホームページが必要と考えるが、作成しては。

A 特定の職員に負担が集中するなど解決すべき課題があるが、前向きに検討したい。

令和3年度の歳入見込みや デジタル化の推進状況は

創政会 青柳 慎

●市内の下水道整備状況と下水道未整備区域の浄化槽管理について

Q 下水道未整備区域では、浄化槽設置費以外にも負担があり、整備区域との下水処理費の差は是正すべきと思う。浄化槽整備の補助を行う自治体があるが、市の考えは。

A 合併浄化槽設置工事費の4割を国、県、市で補助する制度があり、現在、本市でも制度が活用できるよう、要綱の制定を進めている。

Q 浄化槽汚泥処理費用が大幅に値上げされている。整備区域との格差は正には、補助が必要だが、市の考えは。

A 近隣市も同様の状況であるため、情報共有を図り、他自治体の事例を参考にしながら、補助制度を研究したい。

●市内の生産緑地の現状と今後の動向について

Q 特定生産緑地制度が創設され、指定期間の延長や面積要件の緩和がされたが、相談体制や権利者への周知は。

A 権利者110名の約半数の方と個別相談をした。今後、必要な時期に市ホームページなどで制度を周知する。

Q 権利者に今後の土地活

用に関する意向調査を行ったと聞いたが、その結果は。

A 特定生産緑地地区に指定しない方が約2割であった。指定解除の理由は、高齢で農業の継続が困難であることなどが約9割を占めた。

下水道未整備区域の浄化槽 整備に補助を行わないか

創政会 笠間 功治

詳しい内容は会議録・HPで

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは、市役所内情報公開コーナー、市立図書館、市議会に備えてある会議録をご覧ください。また、インターネットでも、会議録の閲覧や検索ができます。

検索

綾瀬市議会

なお、12月定例会の会議録は、2月下旬に閲覧できる予定です。

